



博物館見学の 紹介

10月に来館した、市内の小学校2校の様子をご紹介します。「国語や社会、総合的な学習の一環」として、賢治記念館と博物館を見学する計画での来館でした。



花巻の工芸品を調査中

1校目は10月9日(水)の若葉小学校です。3学級なので、童話村を加えた3か所をローテーションして、1学級ずつ来館しました。



参勤交代を調査中

学習ガイドを使って常設展示室を見学したほかに、学芸員による「室町末期の情勢と花巻城の成立過程」の解説を聞く学習をしました。初めて知る内容が多く、有意義な学習だったようです。



学芸員の解説

「秀吉からの小田原出兵要請を拒んだ和賀氏と稗貫氏は、奥州仕置により…」

児童の感想(一部)

- ・縄文土器は、社会の教科書では保存用と書いていたけど、この博物館に来て、盛り付け用や儀式用があったということを知った。
- ・社会で習わなかった縄文時代の石棒などを知ることができてよかった。
- ・社会で歴史を勉強したが岩手は全然出てこなくて、ここで新たな岩手の歴史について詳しく聞かせてもらってとても勉強になった。



熊堂古墳群の問題の答え確認

2校目は10月24日(木)の湯口小学校です。37名の学級を2つに分け、常設展示と企画展示を交代して見学しました。

常設展示では、最初に学習ガイドを使って学習しました。答えの確認と解説を学芸員が行い、その後、特設で「参勤交代と花巻城」の解説を行いました。



企画展示室(縄文ワールド)で学芸員の解説を聞く

企画展示では、最初に学芸員の解説を聞きながら見学し、後半は各自で興味のある展示をもう一度見て回るスタイルにしました。

短時間でしたが、各自の興味で縄文世界を堪能できたようです。

児童の感想(一部)

- ・縄文時代の人、動物の体をよく分かって落とし穴を掘っていたことを初めて知ることができた。
- ・縄文人はすごく賢くて、サバイバルの知識みたいなものも持っていて、昔の人はすごいなと思った。
- ・いろいろな形の土偶があることが分かった。
- ・縄文人の主食が、ドングリやクルミなどの木の実だったということにびっくりした。

裏面に続く

特別展「縄文ワールド」- 写真家・小川忠博の世界 -

10月19日（土）から開催している特別展「縄文ワールド」の詳細をご紹介します。

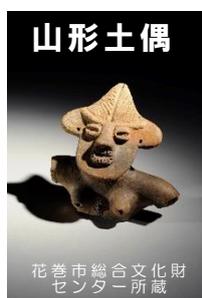
小川氏の写真はどれも見応えがありますが、特に、縄文土器の周囲360度を一画面に収めた「**展開写真**」は、美術や考古学の研究において「文様に新しい解釈がうまれた」と言われるほど大きな影響を与えたもので、ぜひ見ていただきたい展示です。さらに、**国宝や重要文化財**を写した写真なども、見応え十分です。



左手前の展開写真に写っている土器（レフリカ）



仮面土偶（国宝） 合掌土偶（国宝）



山形土偶
花巻市総合文化財センター所蔵
大迫町稲荷神社遺跡から出土

また、**岩手県は土偶の出土数が全国1位**なのですが、**花巻地区はその5分の1を占めて**いて、“土偶の名産地”となっています。出土地をチェックしながら観るのも、一つの楽しみ方だと思います。

そして最後の展示コーナー「**岩手の縄文ワールド**」には、県内の出土品などを多数展示しています。おススメは**花巻市内の縄文遺跡**から出土した遺物を壁面いっぱい展示している部分です。それぞれのお住まいや学校の近くにある遺跡から出土した遺物ですから、身近に感じていただけたらと思います。

花巻市内の縄文遺跡※年代の古い順に展示…○上台Ⅰ（花巻市高木）、○高畑（石鳥谷町五大堂）、○下中居Ⅰ・Ⅱ（大迫町外川目）、○曲谷地（石鳥谷町滝田）、○小瀬川Ⅰ（花巻市小瀬川）、○セツ森（石鳥谷町関口）、○立石（大迫町内川目）、○小田（大迫町亀ヶ森）、○安俵6区（東和町安俵）、○不動Ⅰ（花巻市不動）、○安堵屋敷（石鳥谷町五大堂）



花巻市内の縄文出土品

出前授業「昔の道具と暮らし」のお知らせ

小学校3年生の先生へ



3学期になると、3年生の社会科では「昔の暮らし」の学習が始まります。例年、多くの学校が出前授業「昔の道具と暮らし」を希望されています。

出前授業の良さは、**実物を見てさわれることと、やさしく丁寧な解説**です。昨年度は12校が実施しました。



そこで、3学期に「**昔の道具と暮らし**」の出前授業を希望される予定の先生には、可能であれば学校の3学期の予定を確認して、**早めに申し込まれること**をお勧めします（遅くなると、希望日が埋まってしまっている可能性が出てきます）。

希望される場合は、**出前授業希望日と打ち合わせ※1希望日**をそれぞれ3日程度ずつ選んでから博物館に電話し、**社会教育指導員※2**に希望日を伝えてください。

※1：基本的に来館して行います（経験者は電話だけの打ち合わせでも可能） ※2：不在時は学芸係の職員に伝えてください